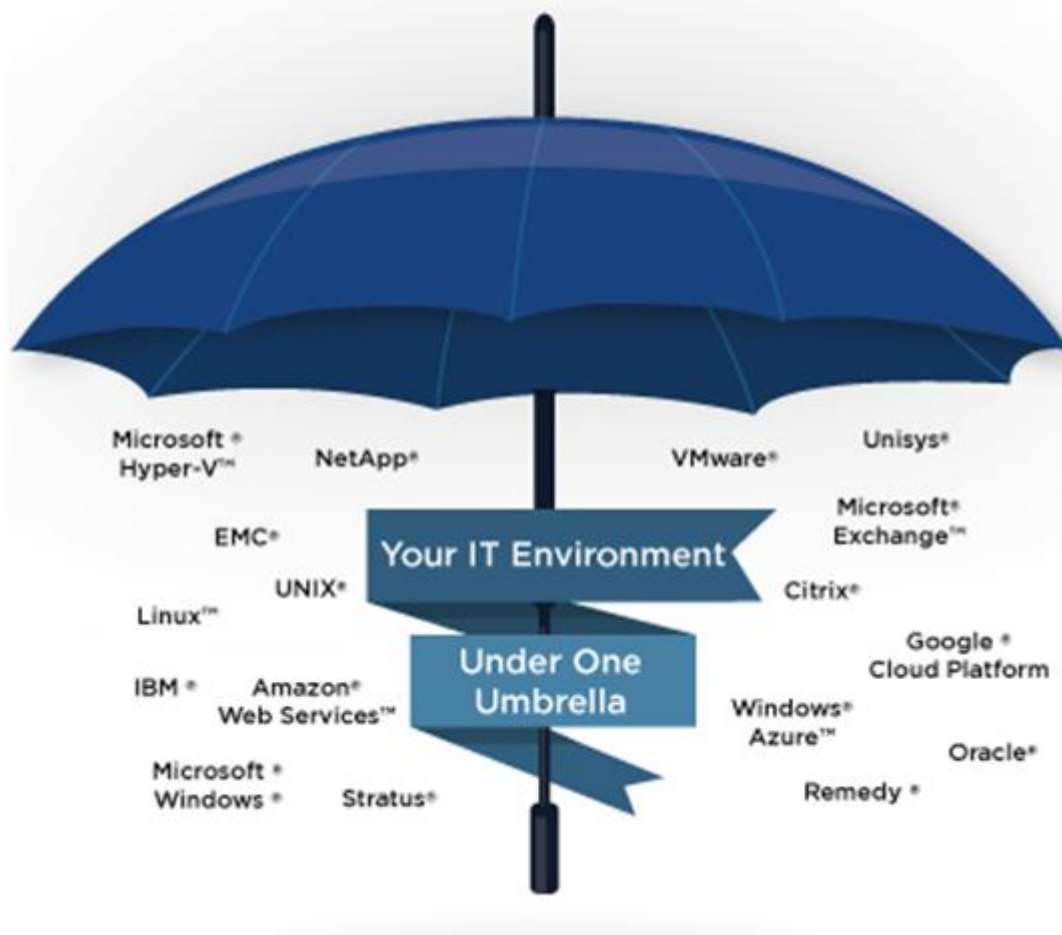


ITシステム環境の統合モニタリング



サイトライン・ユニファイド・モニタリング・ソリューション

企業や政府機関の組織が進化拡大するとともに、ITシステム環境もまた高度化/拡大化してゆきます。この状況に正しく適応するためには、ITチームは正しいデータ分析を行うために、物理/仮想やクラウド環境から、リアルタイムに収集した正確な情報をモニタリングかつ有効活用することが重要となります。収集(Collect)されたモニタリング情報(メトリクス)は、異なるプラットフォームへのビジネスクリティカルなアプリケーションの移行を支援することに有効活用できます。

適合するIT環境/システム環境のパフォーマンスを最大化し、かつコストを最大限に抑制し、正しいリソースサイズにするために利用することが可能となります。SightLineはその全ての情報を統一された観点/視点(ビュー)で可視化(見える化)を提供しています。

SightLineは、IT環境全体をカバーするユニファイド・モニタリング・ソリューションを提供し、顧客のITシステム環境に対して、統一されたビューを、現在、過去、未来にわたり、物理、仮想、クラウド、ストレージ、ネットワーク、ミドルウェア、アプリケーションに関してモニタリングして提供することが可能となります。

コスト・セービング(コスト抑制)



SightLine ForSight Forecast Report

Status	Host Name	Data Source Name	Alerts
	cavirin72	VMware VM	
	dorado - Win2k8R2	VMware VM	
	edmpostares	VMware VM	
	edmqa - OL 6.5 x64	VMware VM	
	mysqldb - RHEL7	VMware VM	
	sightlinedemo	VMware VM	
	sscstage - Ubuntu Server 14.04	VMware VM	
	whistler - SUSE 12	VMware VM	
	win2k12 - Server 2012	VMware VM	

Current Alert Status

現実の課題に着目してみると、クラウドベンダーや仮想環境提供ベンダーは、高額な費用の使用を事前/事後に知らせるための E-Mail を送信してくれません。SightLine は、リアルタイムで現在のリソース使用状況と内容を記録するため、自動化(オートメーション)された簡明な使用率レポートを提供することが可能です。また SightLine の ForSight で現在のリソース使用率に基づいて今後の未来の状況を予測(フォーカスティング)することができます。このことにより、本質的に問題解決とは関係のない情報に惑わされることなく、正しい情報に基づいたビジネス判断を行うことが可能となります。

ITシステム環境の全体に適応可能

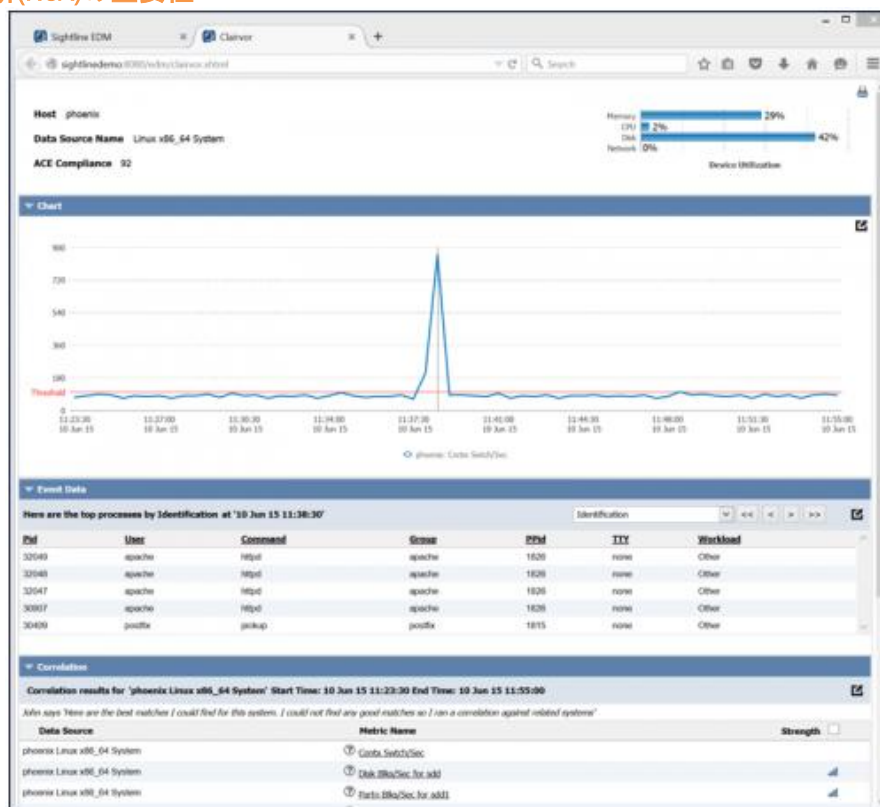
組織や企業でリソースを共有するには、情報通知や障害通知を含んだアラートを迅速かつ的確に、担当責任者やグループに通知することが必要不可欠です。問題点をマネジメントが見るべきエンタープライズのビューから担当現場レベルのオペレーション・ビューまでにおいて、迅速かつ的確に特定することができます。SightLine は関連するチームや担当者に、正確な情報をリアルタイム通知する様々なオプションを提供します。さらに、SightLine は容易に 3rd パーティ製のツールと連携することが可能で、既存のヘルプ・デスク・フレームワークと統合することができます。

システム・マイグレーションへの迅速な対応可能

システム・マイグレーションの決定が迅速かつ的確に行うことが可能となります。クラウド環境や仮想環境、プラットフォームへのリソース増強へ、ビジネス・クリティカルなアプリケーションを移行する場合、新しいハードウェアや別のプラットフォームでもパフォーマンスによるビジネスへの影響が無いことを確認する必要があります。

SightLine プロダクトはレガシー・プラットフォーム、オープン・システム、または仮想およびクラウド環境上で使用することができるため、リソース使用率とパフォーマンスレベルを検証し、ビジネス要件に影響が無いことを確認するために本番環境とテスト環境からのデータを迅速かつ的確に比較/評価することができます。

根本問題分析(RCA)の重要性



Clairvor(Auto RCA)

SightLine は、自動化されたルート・コース・アナリシス(Auto RCA)のために Clairvor を提供しています。Clairvor は、IT システム環境全体に対して根本問題分析をビジネス要件に従った限られた時間内で行うことが可能となり、ビジネスの機会損失を防ぎます。

アプリケーションが、クラウドとオンプレミスや、複数プラットフォームを横断した様々なリソースを使用して稼働している場合には、現象と問題を分析するために数時間から数日かかることがあります。Clairvor ならアラートがトリガーされると直ちに適切な管理者/担当者/チームに状況を通知し、IT システムの構成変更やクラウド/オンプレミス/大規模仮想環境内の何処にどのような現象と問題が発生しているかの詳細レポートを提供することが可能です。

システム・ダウンやダウンタイムによる、IT システムの問題発生を防止することによりビジネスを遅延/停止することなく、コストを削減し、ビジネスを最適化することが可能となります。

SightLine EDM は、ユーザーによる固定化されたアラート設定のみならず、標準偏差、変動率、シミュレーションによるプロアクティブなアラートによる予兆検知を実現する高度なアラートシステムを提供します。アラート発生時には、E-Mail や SNMP Trap によるアラート通知や、他システムとの連携機能により、より高次元なビジネスシステムとの統合が可能となります。

セキュリティ・コンプライアンスへの対応

政府機関やセキュリティ関連組織が提供しているセキュリティ・ベスト・プラクティスが守られている事を常にモニタリングして確認することが重要です。

サイバー・テロによりサイバー攻撃は日々、ビジネスや政府機関の IT システム環境へサイバー攻撃を行います。これを防御するためには、まず、セキュリティ・ベスト・プラクティスが定める基準が守られているのか継続的にモニタリングして確認する必要があります。

また、IT システムが脆弱性が存在する環境であることの脅威から保護出来ている事も確認する必要があります。

SightLine ACE は、IT システム環境内の全ての監査および脅威へのアラートを検出するために継続的なセキュリティ・コンプライアンス・モニタリングを提供し、サイバーセキュリティ対策を行っている全ての状況を確認することが可能です。



日本サイトラインシステムズ株式会社

〒105-0014 東京都港区芝 2-29-10

ユニゾ芝二丁目ビル 3F

<http://www.sightlinesystems.co.jp/>

<http://blog.sightlinesystems.co.jp/>

<http://www.facebook.com/SightLineSystemsJapan/>

<https://www.google.com/+SightlinesystemsCoJpPlus/>

<https://twitter.com/sightlinejapan/>

<http://www.youtube.com/user/SightLineSystemsJP/>